

取扱説明書 初版

セット動噴

168-HG22 168-HG22A2

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みにになり、
内容を理解してからお使いください。

燃料

無鉛レギュラー
ガソリン



エンジンオイル
ポンプオイルは
入っていません。



168-HG22

168-HG22A2

このQRコードを
読み取ることで、
本製品の運転の仕方などを
動画でご覧いただけます。



目次

はじめに	3	長期間使用しない時	28
安全上のご注意 製品を長くご愛顧いただくために		故障と思ったら	29
安全にお使いいただくために	4	消耗品一覧	32
セット動噴の安全に係る事項	4	FAX 見積り・注文用紙	33
セット動噴の作業に係る事項	5	保証内容について	34
主要諸元	6	お客様ご相談窓口	35
各部の名称	7		
梱包部品一覧	8		
組立て	9		
ストレートノズルとグリップの接続	9		
ストレートノズルに送水ホースを接続	10		
車輪の取付け(168-HG22A2)	11		
ハンドルフレームの取付け(168-HG22A2)	11		
ホースリールの組立て(168-HG22A2)	12		
フレキシブルホースの取付け(168-HG22A2)	13		
送水ホースの接続	14		
吸水ホースの接続	14		
余水ホースの接続	15		
吸水ホースの接続(168-HG22)	15		
運転前の点検	16		
燃料の点検・補充	16		
エンジンオイルの点検	16		
ポンプオイルの点検	17		
エアクリーナーの点検	18		
グリスの点検	18		
運転操作の仕方	19		
エンジンのかけ方	19		
エンジンがかからない時	20		
エンジンの止め方	21		
散布作業	21		
散布作業終了後	23		
運搬、輸送について	23		
点検・整備の仕方	24		
運転前の点検	24		
エンジンオイルの交換	24		
燃料の抜き方	25		
エアクリーナーの清掃	25		
ポンプオイルの交換	26		
点火プラグの点検・清掃	26		
グリスの点検	27		
Vベルトの点検と調整	27		

はじめに

このたびはセット動噴をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために



取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために



誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。下記を熟読しご理解してからご使用ください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

セット動噴の安全に係る事項

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。・回転部分のカバーを取り外して運転しないでください。・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっていますので触れないでください。・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。・当社が供給するアタッチメント以外は使用しないでください。・農園芸用薬剤の散布を目的にしています。指定された用途以外には使用しないでください。・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。・または、操作の仕方をよく分からない成年者でも独自の使用はご遠慮ください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。・騒音から耳を守るため、適切な保護具を使用してください。・運転中は、排気ガスに十分注意してください。・燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭き取ってください。・燃料キャップは確実に締めてください。・エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。・始動前点検を実施してください。

注意



 禁止	<ul style="list-style-type: none">・指定された用途以外には使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・燃料は無鉛レギュラーガソリンを使ってください。・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。・部品交換は、純正部品を使用してください。・本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。・定期点検整備を行ってください。・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。・運転時は必ずタンクに、薬剤または清水を入れて行ってください。空運転はポンプを傷めることがあります。

安全にお使いいただくために



誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。下記を熟読しご理解してからご使用ください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

セット動噴の作業に係る事項

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。回転部分に顔や手足を近づけないでください。・ご使用時は、子供、動物、ペットを近づけないようご注意ください。・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。・使用前に接続部のパッキンの脱落がないこと、ネジの緩みや欠落した部品がないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等、各部に異常がないことを確認してください。・火傷、火災の恐れがありますので強酸性の薬剤・シンナー・ガソリン・ベンジン等は絶対に使用しないでください。・気温が高い時の作業は避けてください。・薬剤の使用にあたっては、薬剤の説明書に従ってください。・吸水ホースには、必ず備え付けのストレーナ（こし網）を取付けてください。・こぼれた薬剤をその場できれいに拭き取ってください。・突然の噴霧を防ぐため、エンジン始動時は、レバーコックを閉じた状態にして行ってください。・散布作業中は常に風向きを考え、風上から風下に散布して薬剤が体に直接付着しないように十分ご注意ください。・使用後は清水を吸水しポンプを数分間（2～3分）運転し、ポンプ、ホース、ノズル等の内部に残っている薬剤をきれいに流してください。・薬剤は必ず調合してからタンクに入れてください。

注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・機械の稼働部分に絡まるような衣服は着用しないでください。・エンジンがかかっている状態で本製品から離れないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・薬剤の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護メガネ、保護マスク、ゴム手袋、長袖、長ズボン、ゴム長靴を着用し皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。・屋内の直射日光が当たらず、風通しがよく、凍結しない、子供の手の届かない場所に保管してください。・お昼気温が高い時の散布作業は避けてください。朝、午後の散布作業お勧めします。・自動車等で運搬される場合は、薬剤が漏れないよう、タンクキャップをしっかりと締めて、傾かない状態に固定してください。

主要諸元

モデル名	168-HG22	168-HG22A2
エンジン	空冷 4 ストローク	
馬力	5.5HP	
排気量	212cm ³	
噴霧力	2.0Mpa-Mpa3.5 (20-35kg/c m ³)	
最大圧力	3.43Mpa	
給水量	14-22L/min	
ポンプ	3 連プランジャーポンプ	
燃料	無鉛レギュラーガソリン	
燃料タンク容量	約 3.5L	
エンジンオイル	SAE 10W-30	
エンジンオイル容量	約 0.5L	
ポンプオイル	SAE 10W-30	
ポンプオイル容量	約 0.7L	
サイズ(W×D×H)	830×290×250 mm	860×440×910 mm
重量	30kg	35kg

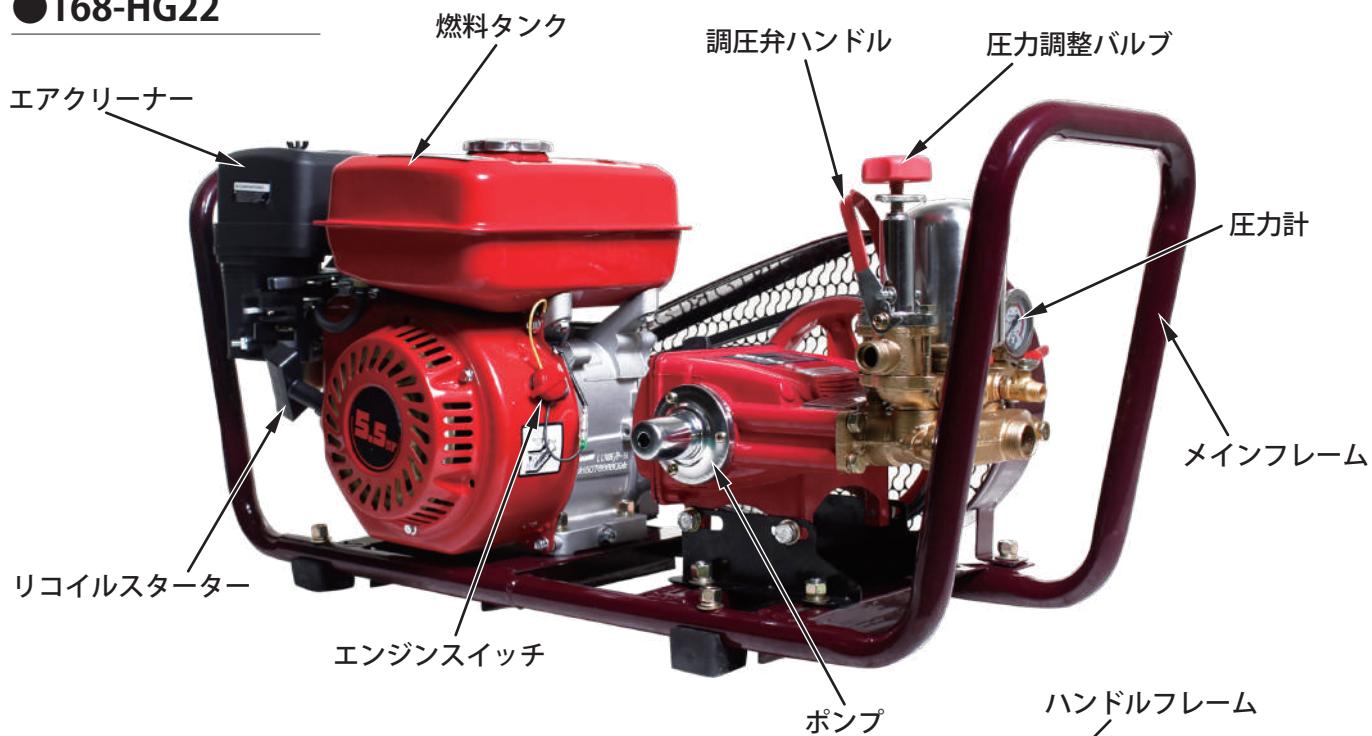
※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

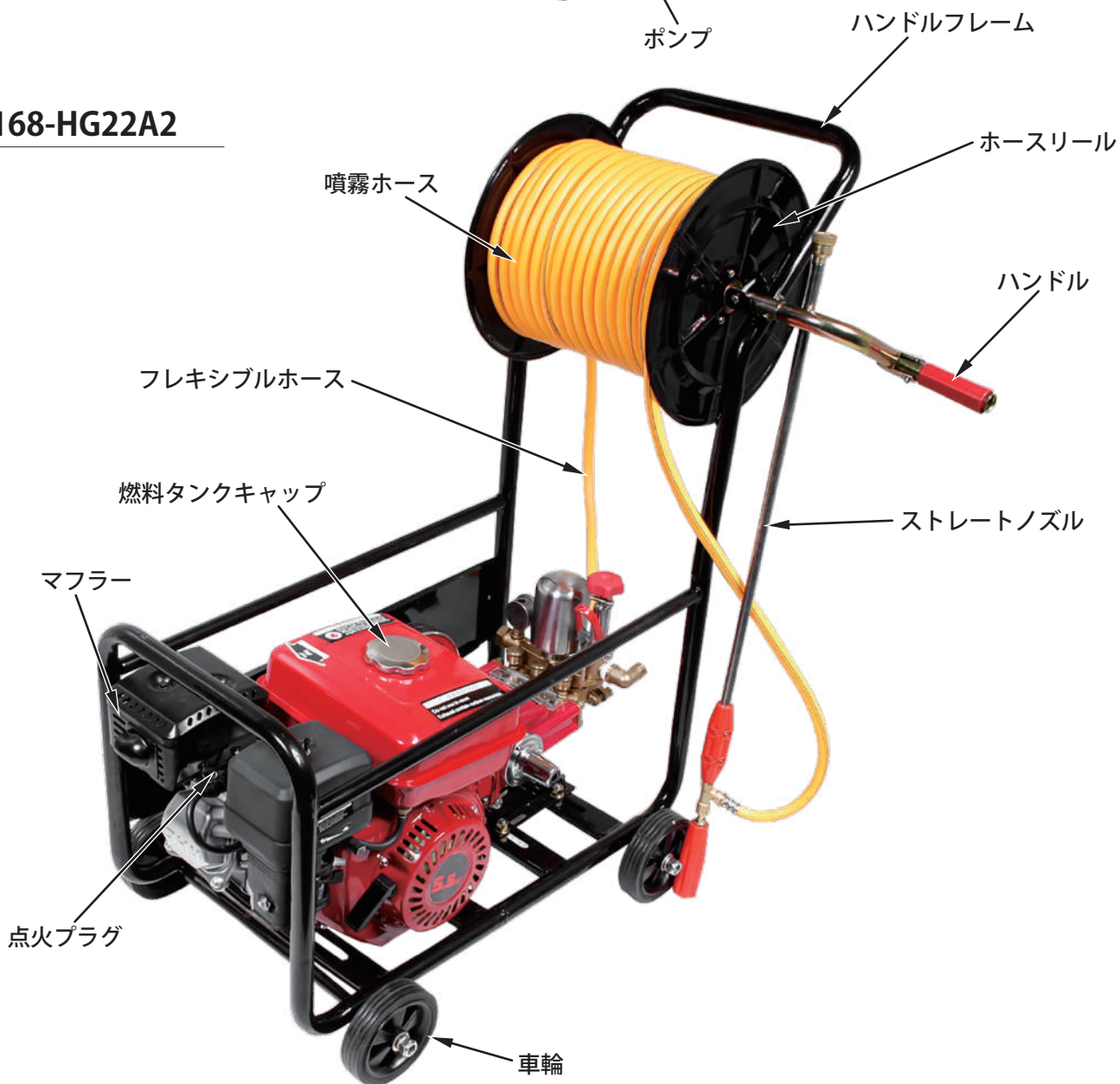
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

各部の名称

●168-HG22



●168-HG22A2



梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、すべてが完全であることを確認してください。
 2. 装置を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
 3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
- 不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。

警告

・不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

●168-HG22A2

A. 本体	
C. ハンドルフレーム	D. ドラム外周 ×2
E. ドラム軸	F. ハンドル
G. シャフト	
H. 車輪 ×4	I. フレキシブルホース
J. ドラム用ビス ×6	K. 固定ピン、ワッシャ、スナップリング

●168-HG22



●共通

L. ストレートノズル		
M. 送水ホース	N. グリップ	
	O. 吸水ホース	
	<small>※168-HG22 は組立てが必要です。</small>	
P. 余水ホース	Q. 工具	
R. ホースバンド	S. パッキン(予備)※1	ブリー用 ボトル類 ※使用しません

※製造時期により部品の形状が変更になる場合や本体に取付済みの場合があります。

※1 予備のパッキンは汎用部品のため、使用しないものも混入しています。使用部位に合ったパッキンをご使用ください。

組立て

警告

- ・組立てを行う時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。

注意

- ・各接続部には、パッキンが付いていることを確認してください。
- ・接続部より液漏れがないようしっかり締めてください。



このQRコードを読み取ることで、「組立て」を動画でご覧いただくことができます。

ストレートノズルとグリップの接続

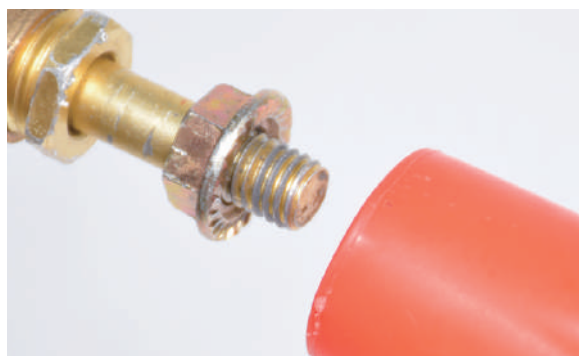
ストレートノズルにグリップを取付けます。



- 1 ノズルのナットを指で止まるまで回します。
※入荷・製造時期によりナットの形状が異なります。



- 2 ノズルにグリップを取付けます。



- 3 グリップを矢印の方向に止まるまで回し、固定します。



- 4 グリップを握り固定させ、ノズルのナットをスパナ(12mm)やペンチ等で締付ければ完了です。

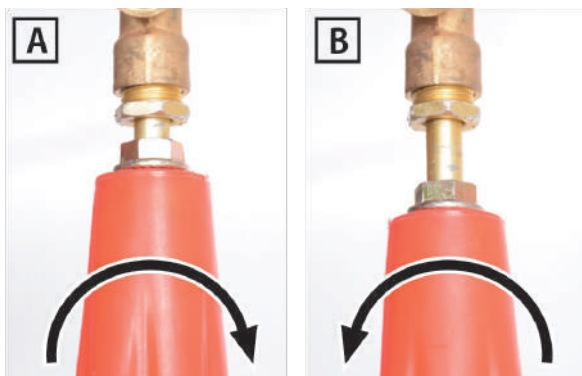


組立て

⚠ 注意

グリップのプラスチックナット部分を強く締付けすぎると、破損する恐れがありますので、ご注意ください。

5 グリップが回るか確認します。

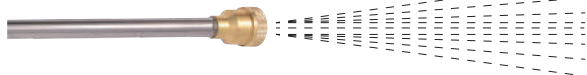


グリップを
A方向に回す・・・噴霧が止まる。
B方向に回す・・・噴霧が出来る。
B方向に止まるまで回す・・・線状の噴霧になる。さらにその状態からA方向に回すと扇状の噴霧になる。

■線状



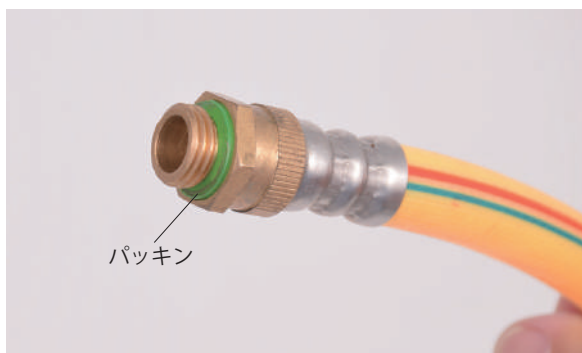
■扇状



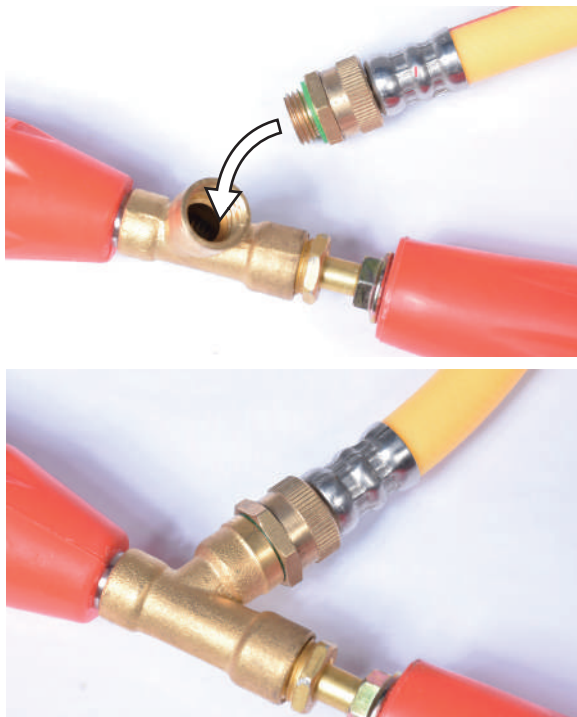
ストレートノズルに送水ホースを接続

ストレートノズルに送水ホースを取付けます。

1 送水ホース先端にパッキンが付いていることを確認します。



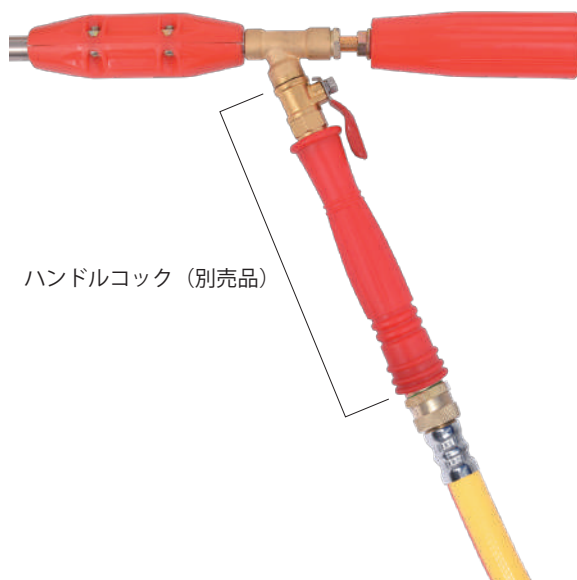
2 送水ホース先端をノズルの取付口に入れ締付けます。



⚠ 注意


パッキン部分は必要以上に締付けないでください。締付けが強すぎるとパッキンが潰れ過ぎ、パッキンの役目がなくなり、漏れの原因になります。

3 ハンドルコック（別売品）を取付けることも出来ます。



組立て

車輪の取付け(168-HG22A2)

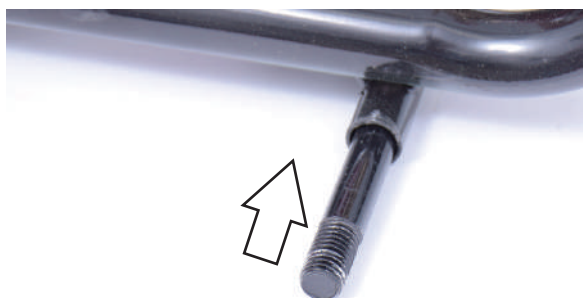
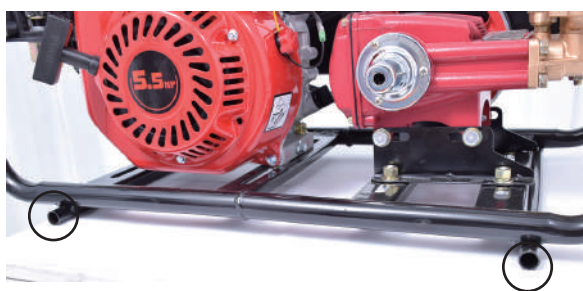
 このQRコードを読み取ることで、「組立て」を動画でご覧いただくことができます。

本体フレームに車輪を取付けます。

■使用工具：19mmスパナ

1 シャフトに仮留めしているナットを一旦取外します。

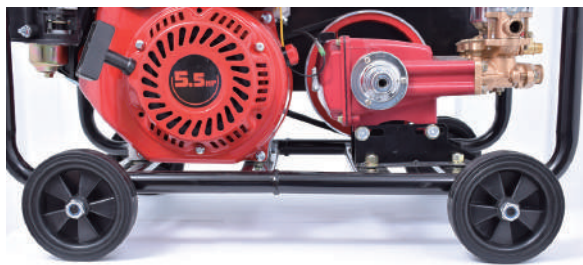
2 フレーム下部のパイプにシャフトを通します。



3 車輪をシャフトに通し、ナットを取付け19mmのスパナで締付けます。



4 反対側も同様に行い、これを、前後車輪行います。



ハンドルフレームの取付け(168-HG22A2)

本体フレームにハンドルフレームを取付けます。

1 ハンドルフレームを本体フレームに挿入します。



 **注意**

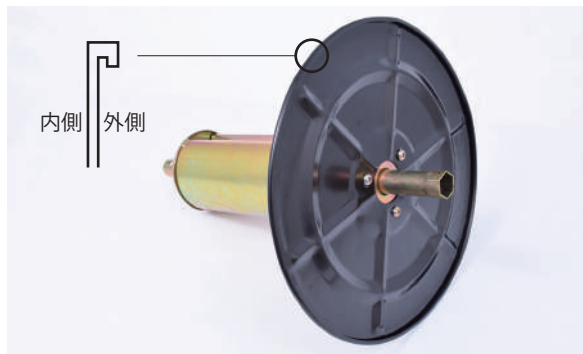
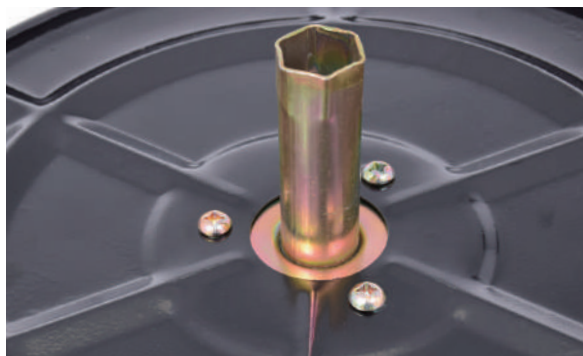
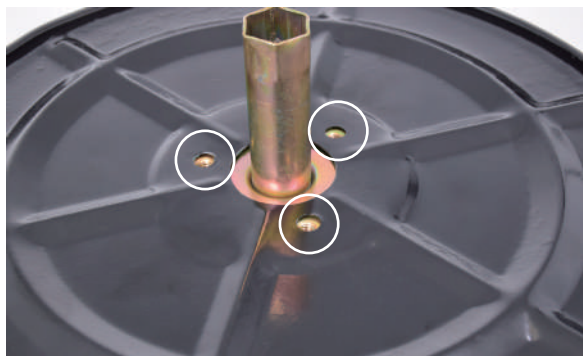
ハンドルフレームは挿入しているだけなので、ハンドルフレームを持って持ち上げないでください。

組立て

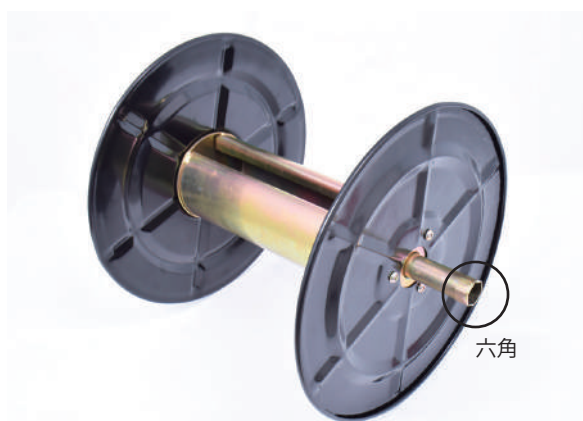
ホースリールの組立て(168-HG22A2)

ドラムを組立て、本体に取付けます。

- 1** ドラム軸の取付穴とドラム外周の取付穴を合わせ、ネジで固定します。
※ドラム外周には裏表がありますので、取付けの際はご注意ください。



- 2** 反対側も同様に取付けます。



- 3** ドラム軸の先端が六角に加工している側を右側にし、ドラム軸受けに乗せます。



- 4** ドラム軸受けの穴に固定ピン(長い)を通し、ワッシャを入れスナップピンで固定します。反対側も同様に取付けます。



- 5** ハンドルをドラム軸に挿込み、取付穴を合わせ固定ピン(短い)を通し、ワッシャを入れスナップピンで固定します。



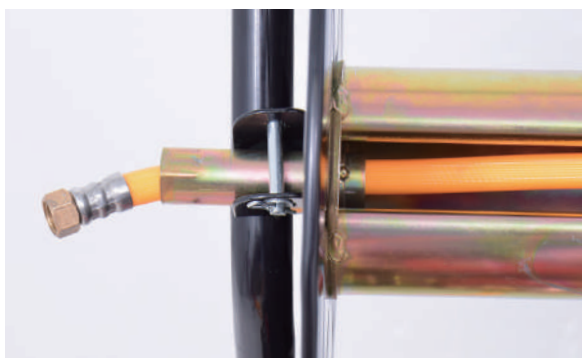
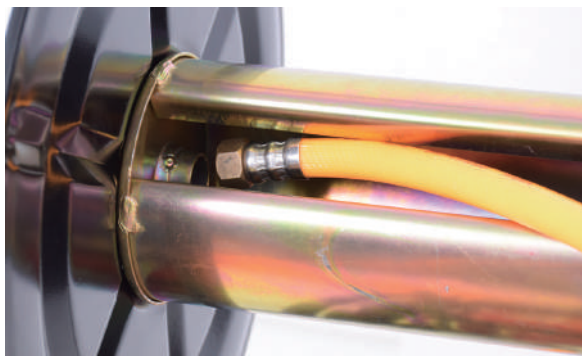
組立て

フレキシブルホースの取付け(168-HG22A2)

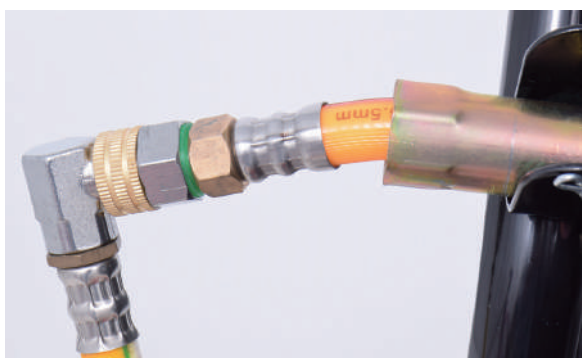
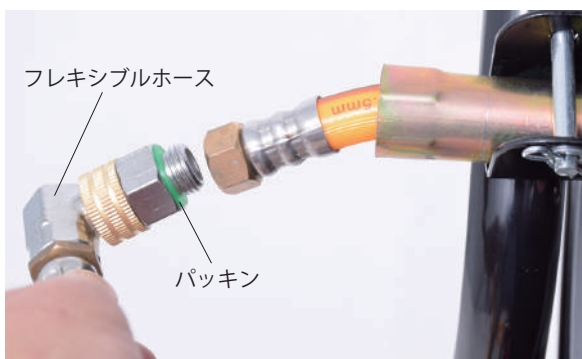
ドラムにフレキシブルホースを接続をします。

■使用工具：スパナやモンキーレンチ

- 1** 噴霧ホース先端のメス側をドラム軸の溝に通し、先端をドラム軸の六角部分から出します。



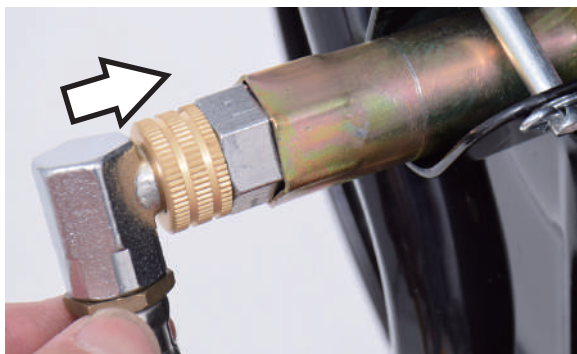
- 2** 噴霧ホース先端のメス側とフレキシブルホースのオス側を接続し、スパナやモンキーレンチで締付けます。



⚠ 注意

パッキン部分は必要以上に締付けないでください。締付けが強すぎるとパッキンが潰れ過ぎ、パッキンの役目がなくなり、漏れの原因になります。

- 3** フレキシブルホースのジョイント部をドラム軸の六角部分に押し込みます。



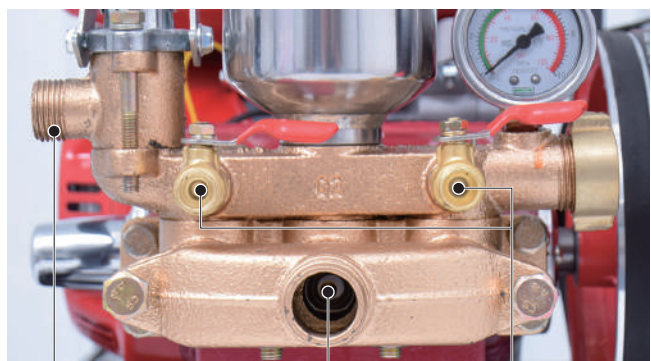
- 4** 噴霧ホースをドラム軸の奥まで持っていき、ドラムに巻き付けていきます。



⚠ 注意

噴霧ホースを巻きつける際は、ホースがつぶれたり折れたりしないようにしてください。

組立て



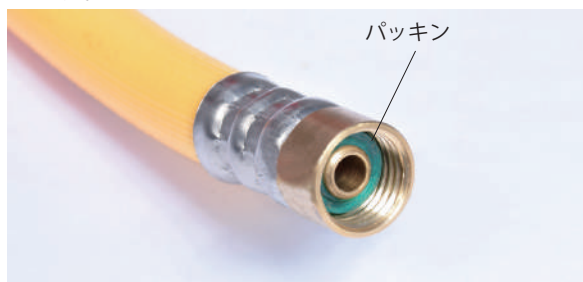
余水ホース接続口 吸水ホース接続口 送水ホース接続口

送水ホースの接続

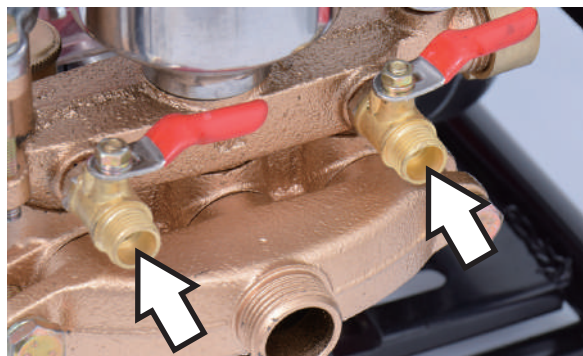
送水ホース（168-HG-HG22A2 はフレキシブルホース）を本体ポンプに接続します。

吐出口は2ヵ所あります。どちらか一方、又は両方に送水ホースを取付けることができます。

- 1 ホース先端にパッキンが付いていることを確認します。



- 2 送水ホース(168-HG-HG22A2はフレキシブルホース)を本体ポンプの吐出口に手でねじこみます。



- 3 プライヤなどで、1/8 回転ほどさらに締付けます。

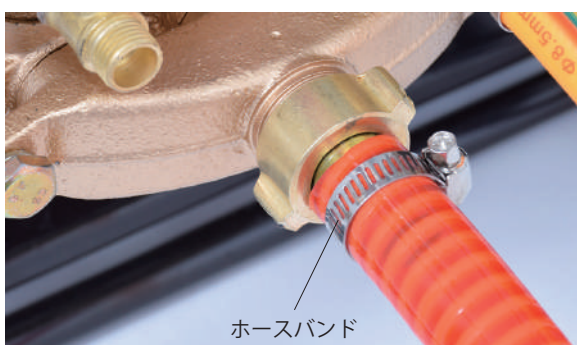
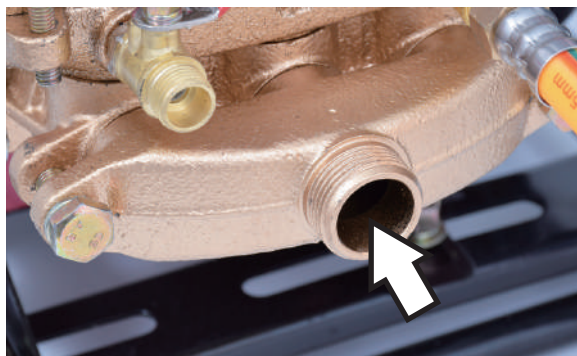
注意

締めすぎると先端が破損する恐れがあります。

吸水ホースの接続

吸水ホースを本体ポンプに接続します。

- 1 吸水ホースを本体ポンプの吸水口に手でねじこみます。



- 2 プライヤなどで、1/8 回転ほどさらに締付けます。

注意

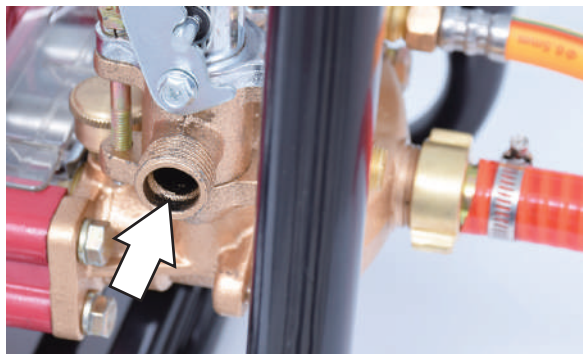
ホースバンドは必ず増し締めしてください。

組立て

余水ホースの接続

余水ホースを本体ポンプに接続します。

- 1 余水ホースを本体ポンプの余水口に手でねじこみます。



- 2 プライヤなどで、1/8 回転ほどさらに締付けます。

⚠ 注意

ホースバンドは必ず増し締めしてください。

吸水ホースの接続 (168-HG22)

- 1 ストレーナに吸水口を取付けます。



⚠ 注意

ストレーナのメッシュは金属製でエッジが尖っていますので、取付時にご注意ください。

- 2 ホースバンドを通した吸水ホースをストレーナに取付け、その後ホースバンドを締付けます。



運転前の点検

警告



- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。



- ・燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

注意



- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。



このQRコードを読み取ることで、「運転前の点検」を動画でご覧いただくことができます。

燃料の点検・補充

使用燃料	自動車用無鉛ガソリン(レギュラーガソリン)
タンク容量	約 3.5L

燃料の量を点検します。出荷時が入っていません。

- 1 燃料タンクキャップを外します。



- 2 液面を見て残量を確認します。



- 3 少ない時は、少しずつこぼさないように給油(ストレーナの半分まで)し、給油後は燃料キャップをしっかり閉めます。

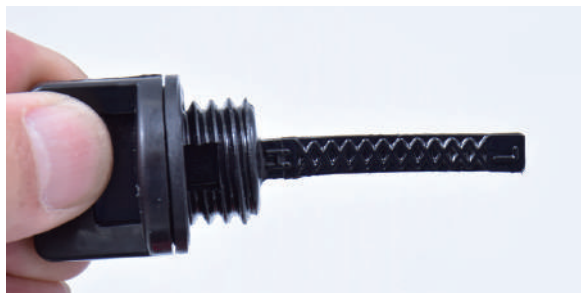
エンジンオイルの点検

エンジンオイルは出荷時には入っていません。

必ず給油してください。また、工場ですべてのエンジンオイルが内部に残っている場合がありますので、こまめにオイルゲージで確認しながら給油してください。

推奨オイル	4サイクルガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	約0.5L

- 1 本体を水平な場所に移動させます。
汎用エンジンのため給油口は2カ所あります。そのため、オイルゲージ付きキャップが奥側に付いている場合があります。その場合はゲージ付きキャップとゲージなしキャップを入替えてご使用ください。



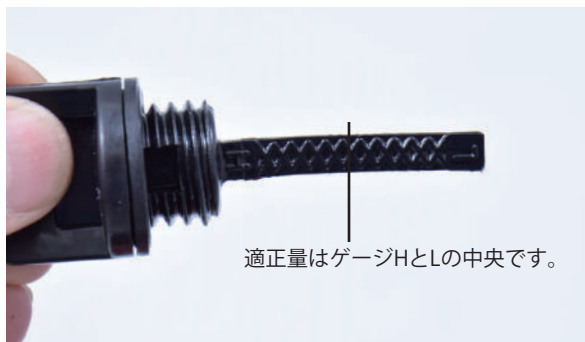
運転前の点検

- 2** オイル給油キャップを外し、オイルゲージを布などで拭取ります。

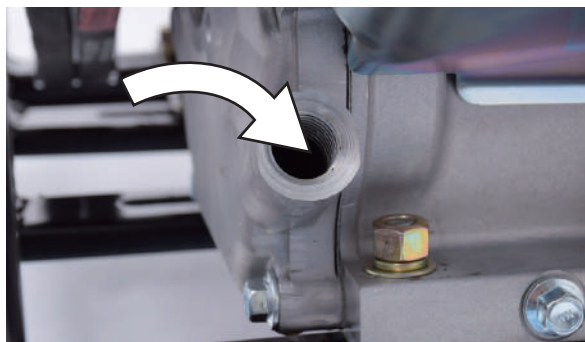


- 3** オイル給油キャップを取付け一旦締付け、再度外します。

- 4** オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)まであるか点検します。



- 5** オイル量が少ない時は、新しいオイルを補給します。



- 6** 給油が終わったらオイル給油キャップをしっかり締めます。

⚠ 注意

- エンジンオイルを規定量以上に給油しないでください。エンジン不調になる恐れがあります。
- こぼれたエンジンオイルは必ず拭き取ってください。

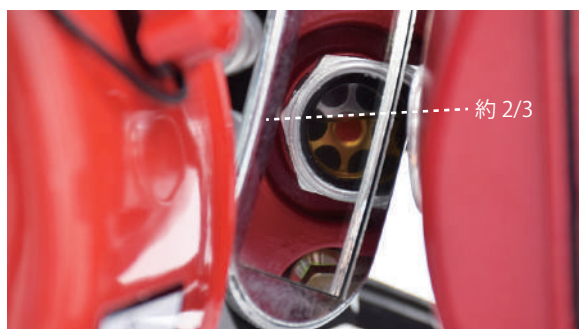
ポンプオイルの点検

ポンプオイルは出荷時には入っていません。

必ず給油してください。また、工場ですべて試運転をしているため、若干オイルが内部に残っている場合がありますので、確認窓で確認しながら給油してください。

推奨オイル	4サイクルガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	約0.7L

- 1** ポンプオイルが、オイル確認窓の2/3 まであることを確認します。
※確認窓は見にくい位置にあるため、鏡などをご利用ください。



- 2** オイルが不足している場合は、オイルキャップを開け、オイル確認窓を見ながら少しずつこぼさないように給油します。
※漏斗などを使用すると入れやすくなります。



- 3** 給油後はキャップをしっかり閉めます。

運転前の点検

エアクリーナーの点検

エアフィルタの汚れを点検し、汚れている場合は清掃を行ってください。

- 1 エアクリーナーカバーの蝶ネジを外し、カバーを外します。



- 2 エアフィルタの汚れをエアブローア等で吹き飛ばします。
汚れがひどい場合は、エアフィルタの交換が必要になります。

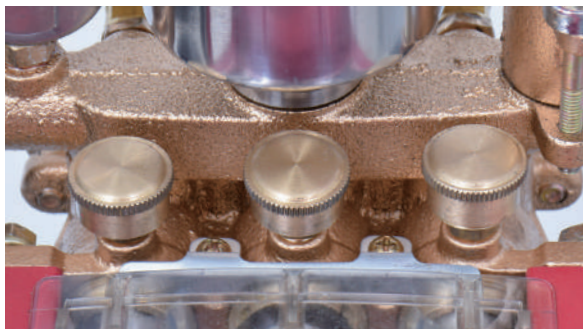


- 3 取外しと反対の手順で取付けます。

グリスの点検

ポンプのグリス量を点検し、少ない時は補充します。（モリブデングリスなど）

- 1 グリスカップを開け、グリスの量を点検します。
不足している場合は、補充してください。



※写真は十分グリスが入っている状態です。

- 2 グリスカップを外し、カップ内にグリスを塗布します。



- 3 グリスカップを時計回りに回し、奥にグリスを送り込みます。使用してグリスが減ったらその分だけ回し送り込みます。

運転操作の仕方

警告



禁止

- ・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。



指示

- ・突然の噴霧を防ぐため、エンジン始動時は、吐出レバーを閉じた状態にして行ってください。
- ・平坦な場所で作業を行ってください。
- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・本機から離れる時は必ずエンジンを停止してください。

注意

- ・エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。



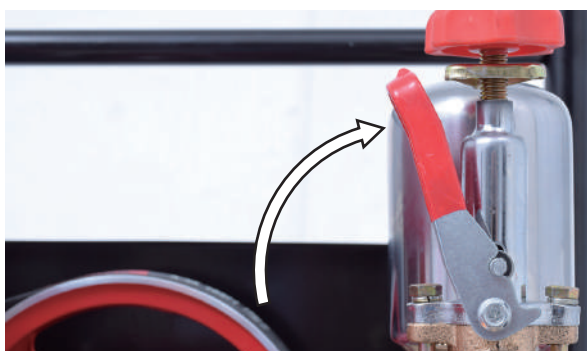
このQRコードを読み取ることで、「運転の仕方」を動画でご覧いただくことができます。

エンジンのかけ方

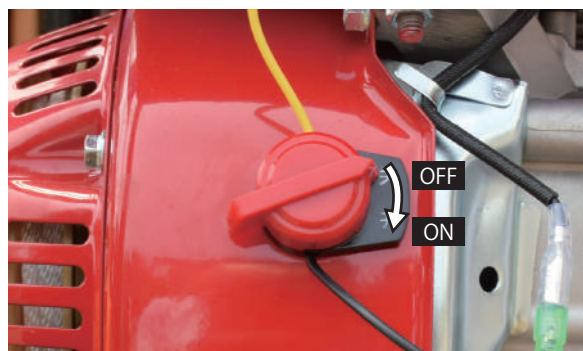
出荷時には燃料、エンジンオイル、ポンプオイルが入っていません。給油後に操作をしてください。



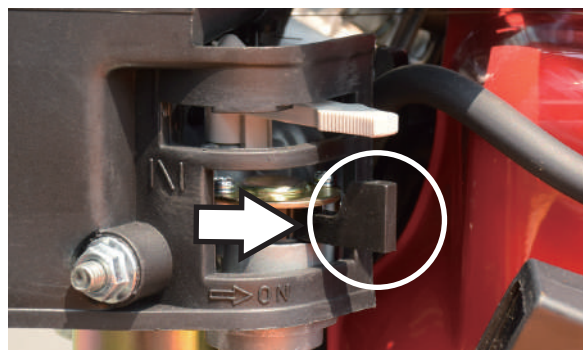
1 調圧弁ハンドルを上げます。



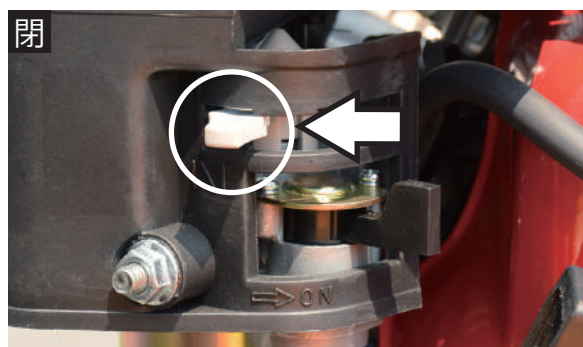
2 エンジンスイッチを「ON」にします。



3 燃料コックを右いっぱい倒します。

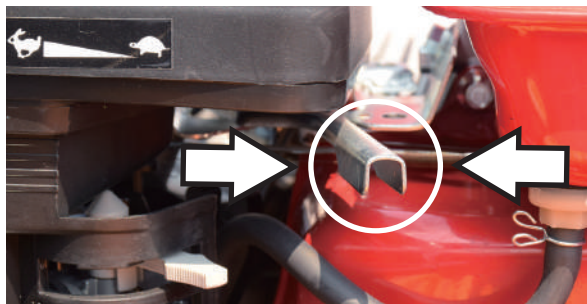


4 チョークつまみを左いっぱい倒します。(チョークを閉じる)



運転操作の仕方

- 5 アクセルレバーを「うさぎ側」と「かめ側」の中間にします。



- 6 本機をしっかり保持し、リコイルスターターロープを引きます。
※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。おおよそ 60～70cm 引きます。(ロープは一杯に引ききらないでください。)引きが少ないとエンジンはかかりません。



⚠ 注意

何度もチョークを閉じたままリコイルスターターロープを引くと、点火プラグを濡らしてしまいます。万が一、濡らしてしまった場合は、P.31 をご覧ください。

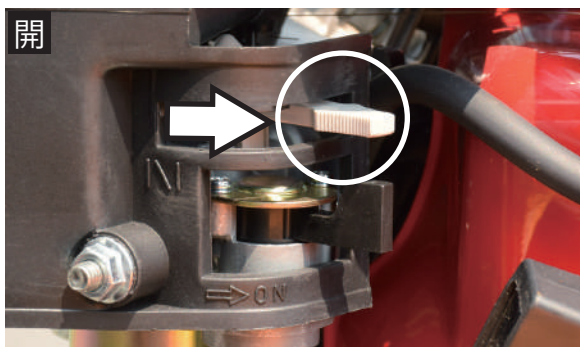
👉 リコイルの引き方ポイント



- ① 良い例：約 70cm 引いている所。
② 良い例：穴に対してロープが真っ直ぐ。
③ 悪い例：抵抗がありエンジンがかかりにくく、ロープが摩擦で切れます。

■ エンジンがかかったら

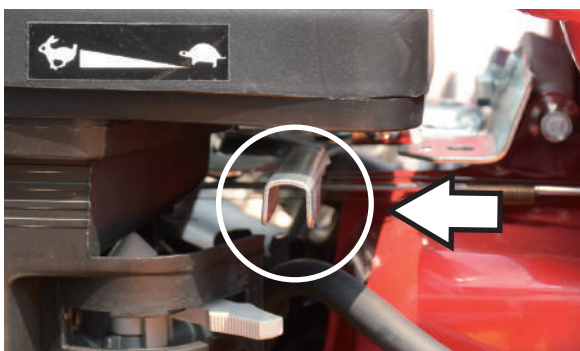
- 1 エンジンがかかったらすぐチョークレバーを「開」にします。



- 2 エンジンが始動したら1～2分程度暖気運転をします。
3 アクセルレバーを「かめ側」(右)にし、エンジンを低速運転にします。



- 4 散布作業をする場合は、アクセルレバー「うさぎ側」(左)にし、エンジンを高速運転にします。



エンジンがかからない時

下記をご確認ください。

- レギュラーガソリンを使用していない可能性があります。

運転操作の仕方

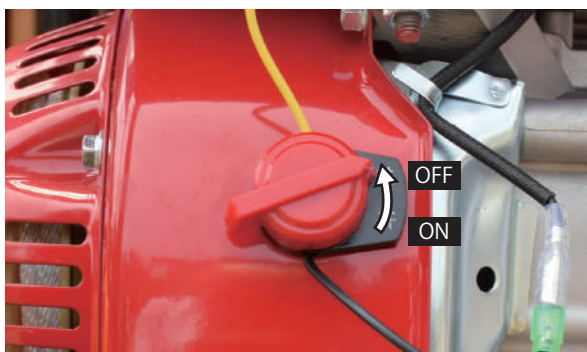
- ✓ チョークレバーを「閉」にしていない。(P.19 参照)
- ✓ エアフィルタが汚れている。(P.18 参照)
- ✓ リコイルの引き方が正しくない。(P.20 参照)
- ✓ 燃料が行き過ぎて、点火プラグを濡らしてしまっている可能性があります。P.29 を参照ください。

エンジンの止め方

- 1 アクセルレバーを「かめ側」(右)にし、エンジンを低速運転にします。



- 2 エンジンスイッチを「OFF」にしるとエンジンが停止します。



⚠ 注意

エンジン停止後しばらくは、エンジン、マフラ等の高温部に触らないでください。やけどの恐れがあります。

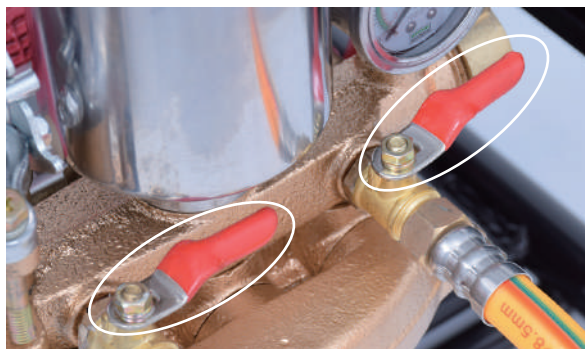
散布作業

⚠ 警告

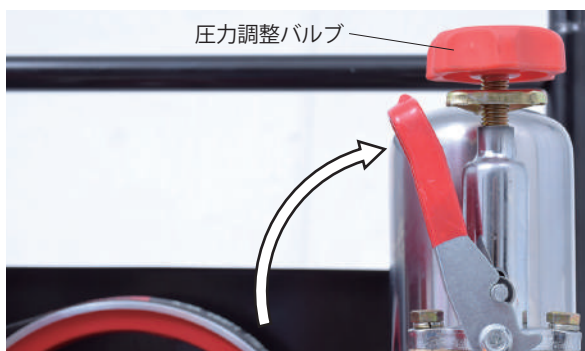
散布作業中は常に風向きを考え、風上から風下に散布して薬剤が体や対象物以外に直接付着しないように十分に注意ください。

■準備するもの：給水用タンク、清水

- 1 吸水ホース、余水ホースを給水用タンクに入れます。
- 2 ポンプの吐出レバーの両方を閉じます。



- 3 圧力調整弁を「LOW側」に回し、調圧弁ハンドルを上げます。



⚠ 注意

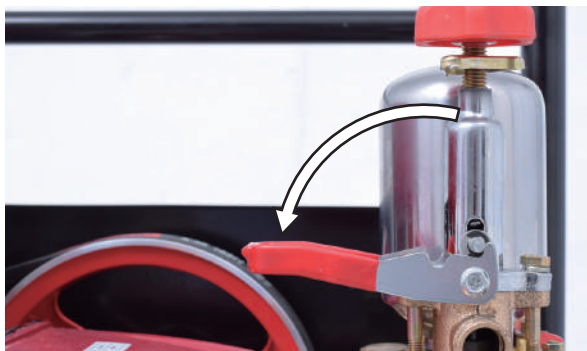
- ・異物の多い水は使用しないでください。
- ・池、沼などの水源から直接給水は行わないでください。
- ・運転時は必ずタンクに、薬剤または清水を入れて行ってください。空運転はポンプを傷めることがあります。
- ・日中の気温が高い時の散布作業は避けてください。朝、午後の散布作業をお勧めします。
- ・吸水ストレーナの設置深さは、本体吸水口より1m以内にしてください。
- ・薬剤は必ず薬剤メーカーの取扱説明書に従って使用してください。
- ・吸水ストレーナは、使用の都度清掃してください。
- ・ホースがつぶれないように注意してください。

- 4 エンジンを始動します。(P.19参照)

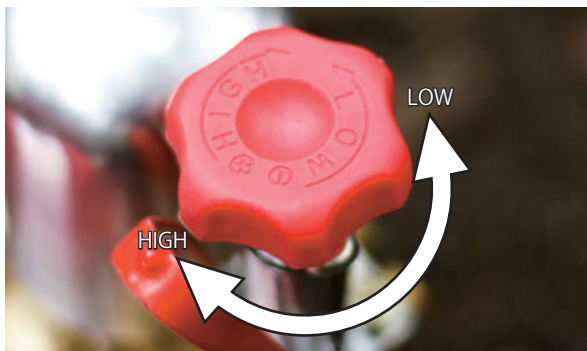
- 5 余水ホースから水又は薬液が出ていることを確認します。また、気泡が出なくなることを確認します。

運転操作の仕方

6 調圧弁ハンドルを下げます。

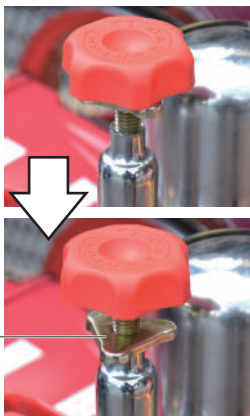


7 圧力計を見ながら、針が緑の範囲になるように、圧力調整バルブを調整します。



👉 圧力調整バルブの操作方法

圧力調整バルブにより適正な出力圧になったら、そのバルブの位置が振動等でずれないように、ロックノブを回して固定します。



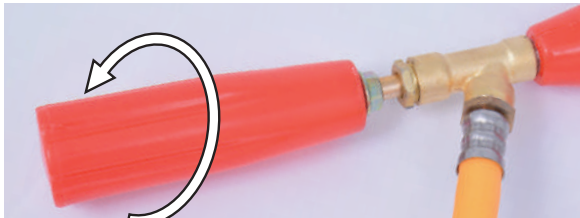
ロックノブを締めた所

8 吐出レバーを開きます。

■ ストレートノズル水流調整

ノズル調整ノブを回し、水流を調整します。

1 反時計回りに回すと、直線状に出ます。



2 時計回りに回すと、扇状に出ます。



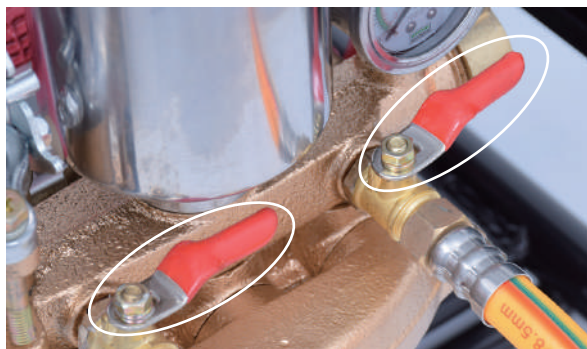
運転操作の仕方

散布作業終了後

- 1 アクセルレバーを「かめ側」(右)にし、エンジンを低速運転にします。



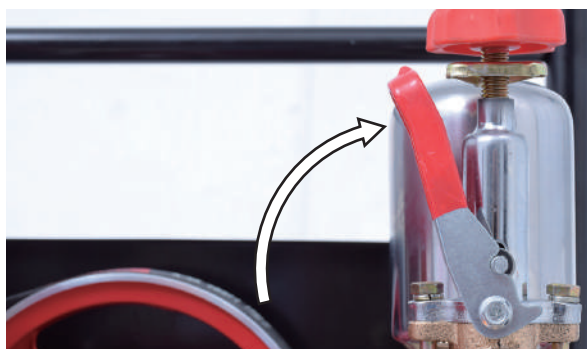
- 2 吐出レバーを閉じます。



- 3 圧力調整バルブを「LOW」側に回して減圧します。



- 4 調圧弁ハンドルを上げます。



- 5 清水でホース、ポンプ内を清掃します。

- 6 ストレーナを水面から引き上げ、ポンプ内の水を排水します。

⚠ 注意

- ・ホースから水が出ない状態で、1分以上運転を続けしないでください。
ポンプの故障原因になります。
- ・薬剤タンク内に残った薬剤や洗浄水は、薬剤の製造者、販売者の指示に従って処理してください。
- ・作業終了後は、薬剤タンク、ノズル、ホース、ポンプ内の洗浄を必ず行ってください。洗浄した水も残らないように全て抜いてください。
- ・薬剤がタンク、ホース、ノズルなどの内部に残っていると、薬害を起こす危険がありますので必ず抜いてください。
- ・残った薬剤は下水や河川、池、沼等には絶対に捨てないでください。
- ・屋内の直射日光が当たらず、凍結しない、子供の手の届かない場所に保管してください。

- 7 エンジンスイッチを「OFF」にしするとエンジンが停止します。

運搬、輸送について

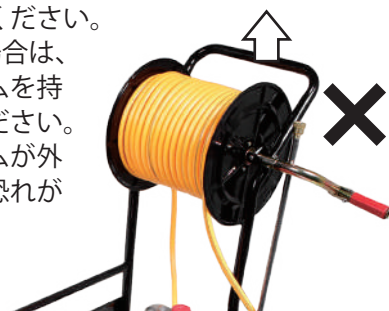
本機を運搬する時は、次のことに注意してください。

⚠ 警告

- ・運搬時は必ずエンジンを停止してください。
- ・運搬する場合は、燃料漏れによる火災を防止するため、燃料タンクから燃料を抜き取ってください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。

⚠ 注意

- ・運搬中に本体が動かないように、ロープなどでしっかり固定してください。
- ・168-HG22A2の場合は、ハンドルフレームを持ち上げないでください。ハンドルフレームが外れてけがをする恐れがあります。



点検・整備の仕方

警告

- ・点検整備をする時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- ・点検整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。

注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

対象部品	点検項目	運転前の点検	初回は 10 時間運転後	3 ヶ月毎又は 50 時間運転毎	6 ヶ月毎又は 100 時間運転毎	1 年毎又は 300 時間運転毎	掲載ページ
燃料	ガソリン量、漏れ	●					P.16
エンジンオイル ポンプオイル	オイル量	●					P.16
	交換		●	●			P.24
エアクリーナー	清掃			●			P.18
	交換					●	P.18
点火プラグ	清掃				●		P.26
	交換					●	P.26



この QR コードを読み取ることで、「点検・整備の仕方」を動画でご覧いただくことができます。

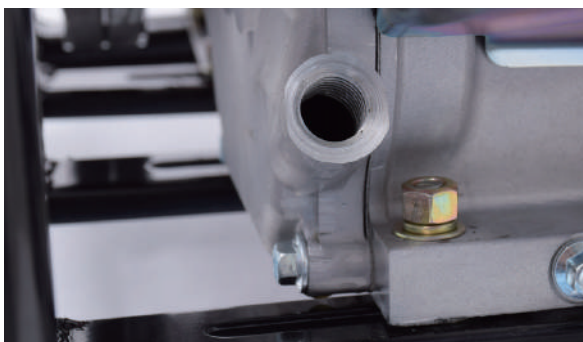
運転前の点検

本機をご使用するたびに点検を行ってください。

エンジンオイルの交換

エンジンオイルの交換は、初回10 時間、以降50 時間毎に行ってください。

- 1 廃油受けを準備します。
- 2 本機を水平な場所で水平な状態にします。
- 3 オイル給油キャップを外します。



- 4 市販のオイルチェンジャーでオイル給油口から抜きます。（使用方法はオイルチェンジャーの取扱説明書をご覧ください。）



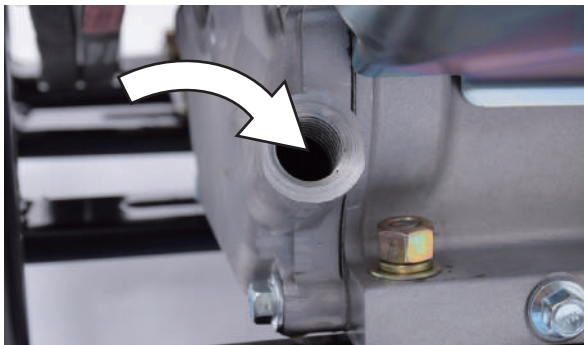
- 5 ドレンボルトを外してオイルを抜きます。



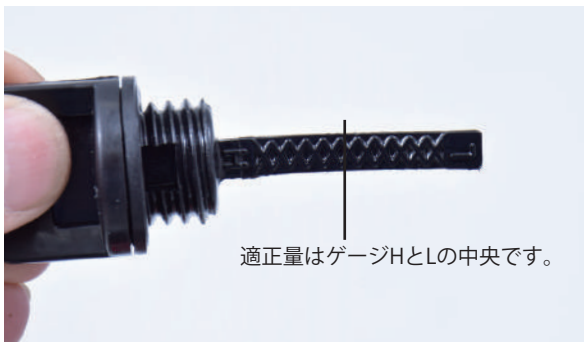
- 6 排出が終わりましたら、ドレンボルトを確実に締めます。

点検・整備の仕方

7 新しいオイルをこぼさないように給油します。



8 オイルをオイルゲージのオイル量範囲（中央）まで給油します。



9 オイル給油キャップをしっかりと締めます。

推奨オイル	4サイクルガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	約0.5L

⚠ 注意

- ・エンジンオイルを規定量以上に給油しないでください。エンジン不調になる恐れがあります。
- ・こぼれたエンジンオイルは必ず拭き取ってください。

燃料の抜き方

1 燃料タンクのキャップを外し、タンク内の燃料を手動のポンプ等で抜きます。

2 O部分の斜めについているボルトを緩めて、ガソリンを容器に受けます。
キャブレターの燃料を抜くことができます。



3 燃料を抜き終わったら、緩めたボルトは、必ずしっかり締めてください。

エアクリーナーの清掃

エアクリーナーのフィルタを清掃します。

1 エアクリーナーカバーの蝶ネジを外し、カバーを外します。



2 エアフィルタの汚れをエアブロー等で吹き飛ばします。
汚れがひどい場合は、エアフィルタの交換が必要になります。



3 取外しと反対の手順で取付けます。

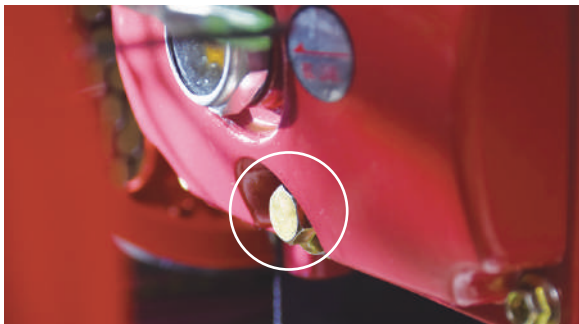
点検・整備の仕方

ポンプオイルの交換

ポンプオイルの交換は、初回10時間、以降50時間毎に行ってください。

1 廃油受けを準備し、本機を水平な場所で水平な状態にします。

2 ドレンボルトを12mmのボックスレンチ等で緩め、排出されたオイルを受け皿に受けます。



3 排出が終わった後、ドレンボルトをしっかり締めます。

4 新しいポンプオイルをポンプ上部のキャップを外し、確認窓の2/3まで給油します。



推奨オイル	4サイクルガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	約0.7L

点火プラグの点検・清掃

点火プラグを外し、電極の点検・清掃を行います。

■使用工具：付属のプラグレンチ、ワイヤブラシ

1 点火プラグキャップを外し、点火プラグをプラグレンチで取外します。



2 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。



隙間は
0.7mm～0.8mmが
適切です。



点検・整備の仕方

適応	F7RTC
点火プラグ	BPR7ES(NGK)
	W22EPR-U(DENSO)

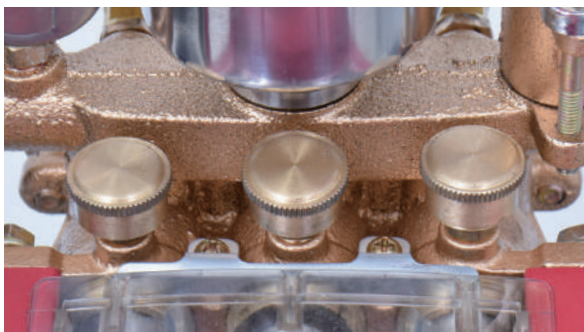
3 取外しと反対の手順で取付けます。

グリスの点検

25 時間ごとに、ポンプのグリス量を点検し、少ない時は補給してください。(モリブデングリスなど)

■点検の方法

1 グリスカップを開け、グリスの量を点検します。不足している場合は、補給してください。



※写真は十分グリスが入っている状態です。

■グリスルの補給方法

1 グリスカップを外し、カップ内にグリスを塗布します。



2 グリスカップを時計回りに回し、奥にグリスを送り込みます。使用してグリスが減ったらその分だけ回し送り込みます。

V ベルトの点検と調整

V ベルトの張り具合を点検します。

1 中間を指で押し、たわみが10mm～15mmになるよう調整します。また、ベルトに亀裂、減りがある場合は、新しいVベルトに交換します。



長期間使用しない時

●本機を2週間以上使用しない時

- 1 燃料タンクから燃料を抜きます。
- 2 エンジンをかけ、燃料切れで停止するまで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。余った燃料は、密封容器に入れ、冷暗所に保管し、1か月以内に使い切ってください。
- 3 各部ボルト・ネジの破損、腐食、緩みの点検をします。
- 4 湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。
- 5 倉庫、物置などに保管する場合は、マフラーからの虫の侵入を防ぐために、マフラーの穴を塞いでください。

保管

- 1 燃料タンクの燃料を抜取ります。
市販のオイルチェンジャーをご使用いただくと簡単に抜くことができます。
- 2 エンジンを再び始動させ、キャブレター及び燃料パイプ内の燃料を使い切ってください。
- 3 「お手入れ」を参考に十分洗浄します。
屋内の直射日光が当たらない場所に保管してください。

故障と思ったら

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない	点火プラグ不良	交換
	点火プラグキャップ接続不良	点火プラグをしっかりとめる
	イグニッションコイルの不良	メーカー、購入店に問い合わせ
キャブレターに燃料が来ていない	燃料がはいっていない	燃料を入れる
	燃料タンク内の異物混入による詰まり	ホース清掃、交換 交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	キャブレター詰まり（ニードル・バルブ固着）	キャブレター分解掃除 メーカー、購入店に問い合わせ
	エンジンオイルの入れすぎ	オイルを抜く
	エンジンオイルが少ない	オイルを補充（P.16）
	エンジンオイルにガソリンが混ざっている	清掃、交換（P.24）
	エアクリーナーの汚れ	清掃、交換（P.18）
リコイルスターターが引けない又は重い	古い燃料によるエンジン不調	燃料の入替え（燃料の抜き方 P.25）
	エンジンの焼付き	メーカー、購入店に問い合わせ

●マフラーから白い煙が出る

症状	原因	対処
	指定以外のエンジンオイルを使用	オイル交換（P.24）
	本機を転倒させたことによるオイル上がり	メーカー、購入店に問い合わせ

●水を噴射出来ない・圧が弱い

症状	原因	対処
	パッキンの破損等又はホースの破損、接続不良により吸水側で空気を吸い込んでいる	吸水口のパッキン、ホースの確認
	ノズルの目詰まり	ノズル穴の清掃
	ホースのねじれ	ねじれを解く

●ホース・ノズルが外れない

症状	原因	対処
	ホース内に水圧がかかったままになっている	ホース内の水を抜く

故障と思ったら

症状	原因	対処
噴霧できない 噴霧できなくなった	吸水ホースの破損や折れ曲がり	交換または曲がりを直す
	パッキンの破損や脱落	交換またはパッキンを入れる
	吸水ホースとニップルの締付け不良	しっかり締付ける
	吸水ストレーナー周囲にゴミや異物等の付着	ゴミを取除き、きれいな水で洗う
	吸・排水弁にゴミや異物等の付着	きれいな水でゴミや異物を洗い流す
	吸・排水弁の固着	呼び水または弁と弁座の合わせ面をきれいに洗う
	吸・排水弁の破損、摩耗	交換
	シールの摩耗	交換
	シリンダー、弁室のナットの緩み	ナットを交互に増し締めする
タンク内の余水から 気泡が出る	吸水ホースの取付けネジの緩み	締付ける
	吸水ホース用パッキンの破損、摩耗	交換
	吸水ホースに穴が開いている	交換
	シールの摩耗	交換
	シリンダーや弁室のナットの緩み	ナットを交互に増し締めする
圧力が上がらない	調圧弁と弁座の合わせ面にゴミや異物が付着	きれいな水でゴミや異物を洗い流す
	調圧弁と弁座の破損、摩耗	交換
	ノズル噴霧量が多く、余水がない	全吐出量の10%以上余水が戻るようにノズルを交換
	パッキンの破損、摩耗	交換
圧力の変動が大きい	吸水ストレーナー周囲にゴミや異物等の付着	ゴミを取除き、きれいな水で洗う
	吸水ホースの折れ曲がり	曲がりを直す
	吸・排水弁にゴミや異物等の付着	きれいな水でゴミや異物を洗い流す
	吸・排水弁の破損、変形	交換
	空気の吸い込み	吸水ホース金具を締め直す
	空気室内の空気が抜けきってエアクッションがなくなっている（エアタンク搭載機種のみ）	吸水ストレーナーを空中に取り出して、余水ホースから水が出なくなるまで空気を吸う
	エンジンの回転ムラ	エンジンの調整・メンテナンスをする
圧力調整後、 噴霧を始めると 圧力が大きく低下する	エンジンの回転数が不足している	エンジンのストロークを全開にする
	噴口が摩耗して噴霧量が多い	交換
	調圧弁の動作不良	分解して清掃
	調圧弁・弁座の摩耗	交換
ノズルから出る量が 少なく余水量が多い	調圧弁が上がっている	調圧弁を下げる（P.22参照）

故障と思ったら

点火プラグの点検 ※機種により、プラグの位置、プラグキャップやリコイルの形状等異なります。ご了承ください。

①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチでプラグを外し、先端を確認します。



付属のプラグレンチで反時計回りで外します。振動等で緩まないよう少し固めに締め付けています。

先端が濡れている

先端は濡れていない

②燃料で濡れているため布等でよく拭きます。



③リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認し、出てきたらよく拭き取ります。

②外したプラグをキャップに取付けます。



③スイッチをONにします。

④プラグ先端をエンジン金属部に当てながら、リコイルスターターを引きます。



火花が出る

火花が出ない

プラグに異常はありません。プラグ先端の濡れは燃料の行き過ぎで起こります。再度エンジンをかけ、確認ください。それでもかからない場合は、他の原因が考えられます。

エンジンオイル不足かプラグの不良が考えられます。購入先にお問い合わせください。

消耗品一覧

商品名		商品コード	
駆動ベルト	168-HG22 用	a813lin	
	168-HG22A2 用	a762lin	
プランジャーポンプ	168-HG22/ 168-HG22A2 兼用	hg-spp12n	
噴霧ホース	50m	hg-spop11n	
	20m	hg-spop09n	
異径金具 男 SW13.8× 女 G1/4 ※弊社噴霧器に日本製の噴霧機用ホースを接続する場合に必要です。		hg-ft-p002n	
異径金具 男 G1/4× 女 SW13.8 ※他社日本製噴霧器に弊社噴霧機用ホースを接続する場合に必要です。		hg-ft-p001n	
スプレーガン (ロング)		hg-spop10n	
スプレーガン (ショート)		hg-spop04-2n	
スプレーガン (ロング) 圧力計付き		hg-spop102n	
一頭口ノズル先端の噴射口		hg-spp27n	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。

ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等

★上記消耗品をご注文の場合は、下記各サイト又は FAX よりご注文ください。



本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/>

楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/>



FAX.0276-55-2276 ※次ページのFAXお見積り・注文用紙をご利用ください。

※電話でのご注文は、誤発注・誤発送を回避するため、受付けておりません。
ご迷惑・ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

【見積り・注文の流れ】

■見積りの場合

「見積りにチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文の有無を確認」

■注文の場合

「注文にチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文完了」

通信欄

太枠内をご記入ください。

送信日 令和 年 月 日

見積り 注文
 ご連絡方法 FAX TEL

本製品ご購入お客様情報			
フリガナ		ご購入時登録の電話番号	
氏名 会社名	様	普段繋がりやすい電話番号	
ご住所 お届け先	〒 -	FAX 番号	

お届け先情報（上記お客様情報と異なる場合はご記入ください。）			
フリガナ		電話番号	
氏名 会社名	様		
お届け先	〒 -	FAX 番号	

代金お支払い方法 (お振込み期限 7 日) いずれかにチェック をお願いします。 手数料は、お客様 ご負担となります。	<input type="checkbox"/> 銀行振込	みずほ銀行 館林支店 普通口座 1851252	お振込先口座名義人は、 ハイガー・ハイグサンギョウ (カ) となります。
	<input type="checkbox"/> 郵便振替	ゆうちょ銀行 記号 10480 番号 32034181	
	<input type="checkbox"/> 代金引換	代引手数料 (1 万円未満：330 円、3 万円未満：440 円、10 万円未満：660 円)	

★弊社で、この FAX 内容を確認後、正式金額をお知らせ致します。

※銀行振込・郵便振替の場合は、入金確認後の商品発送になります。

※代金引換の場合は、商品お届け運送会社に商品代金+代引手数料ををお支払いください。

商品名	商品コード	数量	単価 (税込) 円	金額 (税込) 円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
備考			送料	円
			代引手数料	円
			合計	円

本規約は、ハイガー産業株式会社(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
 - (11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
 - (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
 - (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
 - (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
 - (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡いただきたく存じます。
またはお近くの修理協力店へご連絡くださいませ。
症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料や水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合がございます。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する場合がございます。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しできない場合がございます。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。
②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。



⑤お見積り提示。
⑧送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様



①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理^{*1}か、引取り修理^{*2}か、出張修理^{*3}かを相談させていただきます。



⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認
- ④故障装置の修理

^{*1} お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
^{*2} 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
^{*3} 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

■保証適用について■

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的による破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

■保証期間について■

- ・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく到着日から1週間とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

■消耗品について■

- ・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。



24時間365日
無休受付

カスタマー・サポート・センター
お問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。

販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

オフィシャルサイト ▶ <http://www.haige.jp/agency.html>

本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト ▶ <http://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/after.html>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、
下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。



24時間365日

無休受付



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



ハイガー産業 株式会社

〒370-0503
群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3

<http://www.haigeshop.net/>



緊急の方へ

電話窓口

ご協力をお願い

お電話が殺到しており、繋がりにくい状態が続いております。
ご迷惑をおかけしますが、緊急の場合を除き、インターネットからお問合せください。

重要なお願い

お電話を頂く場合は、上記の URL のカスタマー・サポート・センターの「お問合せフォーム」を
必ずご参考のうえ、お問い合わせください。ご対応に必要な事項が記載されています。

0276-55-2275

受付：月曜日～金曜日 9:30～16:00 第1・第3・第5土曜日 10:00～12:00
受付中止：平日 12:00～12:50 ◎定休日：第2・第4土曜日、日曜日、祝祭日